

全国のリスナー・読者のみなさんから、  
ファミリー・フォーラム宛に、Eメールやお便りを頂いています。  
その一部をここで紹介いたします。

9月19 - 21日に三鷹市にて「アブステナンス教育指導者養成講座」が開かれました。参加者のアンケートから感想を拾ってみました。

\*セミナーの後、ほとんど毎日のようにアブステナンス性教育を少人数のグループに分ち合う機会を与られています。実物教材として使うメジャー・のり・ピンクとブルーの折り紙・100円ショップのバラの花・FFJ マガジンなどは、バックの常備品になりました。「え？これからマジックショーでもするんですか？」といぶかれますが、プレゼンテーションのあとでは、「ああ、もっと早くアブステナンスの考え方を知っていたら良かったのに」とおっしゃる方がほとんどです。(Iさん)

\*今の私にとっても必要な学びでした。子どもを育てる際に、夫と話し合っていたい。実際のカウンセリング例など聞かせていただき、勉強になりました。(Nさん)

\*性的問題について、何となく「いけないことだ」と分かっているが、聖書がそれを「なぜ」いけないとしているか、どれがどこに書いてあるかを細かい所まで教わることが今までなかったの、とても勉強になった。学生である自分にとって実生活にとっても密接に関係している内容だったので、もっとたくさんの若い人たちに聞いてもらいたいと思う。(Sさん)

\*学びを終えて、自分自身の考えが整理されたと思います。今、学生たちに関わっていますが、ここをスタート地点として何を伝えていけるのか祈り求めています。これからは、夫婦、育児について神さまの望まれる家族のあり方について学ぶ機会を与えていただきたいです。(Oさん)

\*聖書の教える価値観を、小さい頃から子どもたちに教えていくことが大事であると思いました。地域にも何とか、アブステナンスを発信していきたいです。さらに、夫婦間恋人間のDVについての情報や解決法などをコースに加えてくださるといいと思います。(Gさん)

\* \* \* \* \*

●「見つけた 子育てのよこび」を使っています。このテキストを使っての学びを、幼稚園のお母様方を対象にして始めてから7年ほど、5回ほど繰り返してきましたが、毎回とても好評で、特にノンクリスチャンのお母様方への伝道のよい機会となっています。「聖書の学び」というと抵抗を感じる方も、子育ての学びなら入りやすいようですし、聖書には子育てに役立つ知恵がたくさん詰まっていますから、自然に聖書を開くこともでき



ます。子育てに悩んでいるお母様方は本当に多く、このテキストはイエスさまの愛を伝える道具として豊かに用いられています。(東京都 マーティン理恵さん)

●バウマンさんの「見つけた 子育てのよこび」ドブソン先生の「新・思い切っつけてしまおう」「劣等感からの解放」「男の子を育てる」を読み、しつこいことを捉え直し、改め始めています。FFJの出版物は、どれも「我が家を取材したのかな」と錯覚するほどで、的確に問題を指摘されます。思春期の子どもの状態や接し方についても、遅まきながら実践し始めています。おかげさまで娘との対話も深まり、無用な衝突が減り、一緒に進んでゆく力となっているように感じています。(北海道 Mさん)

本番の印刷では  
消えます

nexta.jp

お便り募集

編集部では、皆様からのご意見や感想をお待ちしています。

home.office@ffj.gr.jp  
TEL&FAX045-933-3875